

第5学年プログラミング学習指導案

令和2年10月13日（火）第6校時

川東小学校 授業者 米澤 祐児

1 単元名 「効率よくおいしい食事を作ろう」学習活動の分類 (A B **C**)

2 単元のねらい

○手順を明確にし、できるだけ短い時間でおいしいカレーライスを作ることができる

3 本時の展開 (1 / 6)

(1) 本時のねらい

手順の確認や分解、再構成を通して理解を深め、効率のよい手順を考えることができる

(2) 本時の構想

カレーライスを作る工程を大まかに知っている子はあるが、手順を詳細に説明できる児童は少ない。調理の内容を書いたカードを順番に並べ替えさせることで作業の流れをつかませる。材料を切る手順について細分化し、順番に並べる際に「効率のよさ」を意識させていく。さらに、調理するものの手順を順番に並べる活動も行う。どちらも確認した上で、並行して調理することがさらに「効率よく」作業を行えることに気づかせていく。

(3) 展開

学習活動	教師の働きかけと予想される児童の反応	・留意点 ※評価
1 つかむ (3分)	○効率よくとはいったいどんなことだろう？ ・算数で仕事の速さについて勉強した ・効率(仕事の速さ) = 仕事量 ÷ 時間の公式を作った	・短い時間で調理を終えることが効率のよさにつながることを捉えさせる
2 「プログラミング的思考」の育成につながる活動 (32分)	①カレーの作り方 ○カレーを作る手順を順番に並べてみよう クラス全体で手順を確認していく ②材料を切る手順 ○さまざまな材料をどの順番で切ると効率がいいだろうか ・堅いものから切ればいいのか ・皮むき器を使うものから先に切ろう ③並行して調理するものの手順の確認 ○ご飯の炊き方やサラダを作る手順を順番に並べよう ④すべての調理工程を順番に並べる ○効率よくカレーライスとサラダを作るにはどのようにならべるとよいだろう	・使う調理器具を意識させ、一度に作業を進められるように促す ・さまざまな調理を並行して行うことで時間短縮できることに気づかせる ※手順の確認や分解、再構成を通して理解を深め、より効率のよい手順を考えることができたか
3 まとめる (5分)	○作業手順を発表しよう	

4 単元計画

学習過程 (時間数)	活動内容	指導のポイントなど
第1次 (本時)	<p>○カレーライスをつくり方を考える (1人で作る場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順カードを与え、調理順に並び替える。 ・手順を細分化し、効率よい作業を意識させながら適切な順序を考える。 ・炊飯やサラダ作りも合わせて作業することを伝え、作業をまとめたり、並行して行ったりすることで時間短縮をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手順カードを人数分準備する。 ・調理工程ごとに手順カードを並び替えることができるように画用紙を準備する。 ・効率(仕事の速さ) = 仕事量 ÷ 時間であることを捉えさせる。
第2次	<p>○カレーライスをつくり方を考える (グループ4～5人で作る場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に考えた手順をもとに、作業を分担することでさらに効率のよい作業を考える。 (ライン化や分担など) ・調理実習の役割を決める 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で想定した調理手順を複数人で行うとさらに時間短縮できることに気づかせる。
第3次	<p>○効率よくおいしいカレーライスを作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までにまとめた手順を参考に実習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・刃物等でけがをしないよう注意を促す。
第4次		<ul style="list-style-type: none"> ・まとめた作業手順をもとに、メンバーとともに並行して作業するよう声かけする。
第5次	<p>○ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手順をまとめたり、並行して作業したりすることで効率よく調理することができることに気づく。 	
第6次		